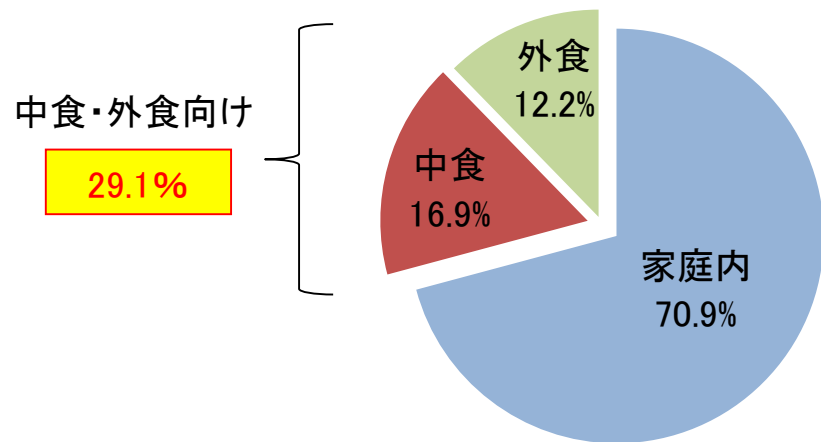


米消費拡大の取組①(中食・外食向け米の安定的な取引の推進)

- ・ 主食用米については、中食・外食向け需要が全体の約3割を占めており、今後も堅調な需要が期待 される ところ。
- ・ 需要に応じた米生産のためには、産地において、高級ブランド米の生産・販売とあわせて、中食・外食の実需者との間で事前契約・複数年契約等の安定取引を拡大していくことが重要。
- ・ 国としても、産地と中食・外食の実需者とのマッチングを支援。

■ 主食用米の消費内訳 (平成29年度平均)



資料：米の消費動向調査((公社)米穀安定供給確保支援機構調べ)

■ 中食・外食の実需者が求める品質

【用途に適した例】

おにぎり: 適当に粘りがあり良食味で歯ごたえのある銘柄米
寿司: 酢が入りやすく歯ごたえのある米
丼物: 液通りの良いやや硬質米
(中食・外食事業者への聞き取り)

■ 実需者と生産者の契約栽培の締結事例

岡山県の生産者団体と全国の炊飯事業者が、中食・外食向けとして「あけぼの」5,000トン規模の複数年契約を締結。
(関係団体への聞き取り)

農 林 水 産 省 の 取 組

- ・ 各都道府県の関係者に対し、中食・外食向け需要に沿った米の生産・販売を行うよう「需要に応じた生産推進キャラバン」等の機会を捉えて説明。
- ・ 中食・外食向け米の安定取引の拡大に向けて、産地と中食・外食の実需者とのマッチングを行う展示商談会等の開催を支援。

米マッチングフェア2018



商談会の様子(東京会場2/6)



セミナーの様子(大阪会場1/16)

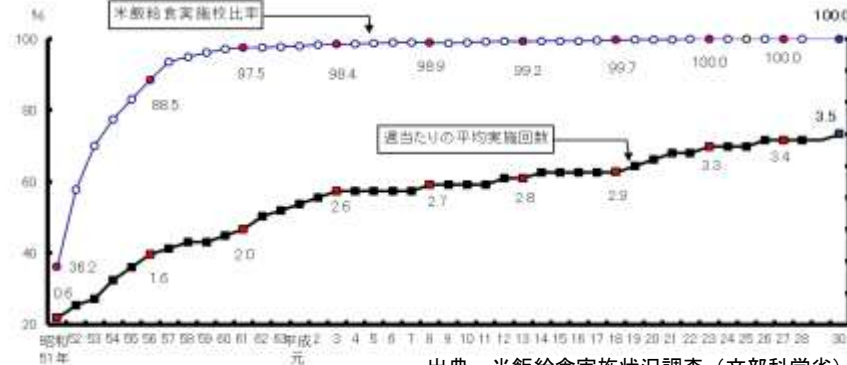
米消費拡大の取組②(米飯学校給食の推進、ごはん食の効用の普及・啓発など)

- 高齢化、食の多様化等により、米の需要が毎年減少する中で、米の消費拡大が重要。
- このため、関係団体等とも連携して、米飯学校給食の推進や「和食」の保護・継承、健康面からのごはん食の効用発信など消費拡大に向けた取組を推進。

米飯学校給食の推進

- 米飯学校給食は、味覚を育む子どもたちに米を中心とした「日本型食生活」の普及・定着を図る上で重要。農林水産省は、米飯を含む和給食食の普及を図るとともに、政府備蓄米の無償交付制度などにより、米の消費拡大を推進。

○ 米飯学校給食実施回数の推移（平成30年度3.5回）



出典：米飯給食実施状況調査（文部科学省）
注：米粉パン・麺は含まない。

「和食」の保護・継承

- 和食文化を次世代に継承していくため、子どもたちや子育て世代に対して、和食文化への関心と理解を育むための事業等を推進。
- また、食育による食文化の保護・継承を推進しており、都道府県等が行う活動の支援等を実施。



全国子ども和食王選手権
(平成30年12月)

米穀周年供給・需要拡大支援事業を活用した産地の取組

- 各産地事業者において、米の需要拡大に向けたメディアを活用したPRや、中食・外食事業者等が参加するイベントでの販売促進のための取組(有名タレントを起用したTVCM、商談会・試食会の開催等)を実施。

シンポジウムによる普及啓発 — 食育健康サミット2018(平成30年11月) —

- 医師や栄養士等を対象に、肥満や糖尿病の予防・改善に向けて、身体活動や食事管理のあり方とともに日本型食生活の役割を再認識するシンポジウムを実施(約560名が参加)。

※ テーマ：健康長寿を迎えるための青・壮年期の健康管理と日本型食生活
 ※ 主催：(公社)米穀安定供給確保支援機構、(公社)日本医師会 / 後援：農林水産省



米消費拡大の取組③(米消費拡大運動「やっぱりごはんでしょ!」)

- ・ 農林水産省では、業界による主体的な米消費拡大の取組を応援する運動を展開。

○ 農林水産省のホームページに米の消費拡大に関する専用ページを新たに立ち上げ、

- ① 全国のごはん大盛り・おかわり無料のお店、旅先で味わえる現地ならではの”ごはん食”に関する情報
- ② ごはん大盛り・おかわり無料キャンペーンなど米の消費拡大に取り組む企業等の企画に関する情報
- ③ お米、ごはんの栄養、健康面の良さが分かる情報やごはん・米粉のレシピ紹介など業界団体等が取り組んでいる米の消費拡大に関する情報
等を一括掲載し、日本人の主食であり、日々の食生活に欠かせないごはん食について、消費者にとって有益な情報を広く紹介。

食ベログ・ぐるなびの情報を利用した消費拡大

- ・ 「食ベログ」のごはん大盛り無料、おかわり無料のお店情報を掲載。
- ・ 「ぐるなび」の旅先で味わえる“ごはん食”の情報をエリア別に紹介。

全国のごはん大盛り・おかわり無料のお店

農林水産省 ×  食ベログ



旅先グルメごはん

農林水産省 ×  ぐるなび



米の消費拡大に取り組む企業の情報を紹介

- ・ 外食チェーンやメーカーによる食育や米の大盛り無料キャンペーンなど消費拡大に関する情報を募集し掲載（応募フォームより投稿→優良事例を掲載）

“わたしたち日本ごはん党”
(活動報告)

農林水産省は、米の消費拡大に取り組む企業を応援します。
その取組又はアイデアを農林水産省のWebサイト(当サイト)で紹介させていただきますので、ぜひご応募ください。

健康面からのごはん食の効用を紹介

- ・ 日々の生活に欠かせないごはん食について、栄養面からの良さを分かりやすく紹介。また、のぞましい食事量や食事バランスを知ることで健康面からの消費拡大を推進。

(参考) 茶わん1杯のお米の値段

○ ご飯は経済的な食べ物

- 茶わん1杯のごはんを炊く前のお米(精米)の重さは **65g** くらいです。5kgの精米は約77杯になりますので、2,027円(小売価格の平均)のお米を買ってごはんを炊いた場合、1杯当たりのお米の値段は **約26円** となります。*



* 茶わん1杯のごはんは、精米65g使用、5kg当たり2,035円(POSデータによるコメの平均小売価格(平成31年2月))で算出。



=

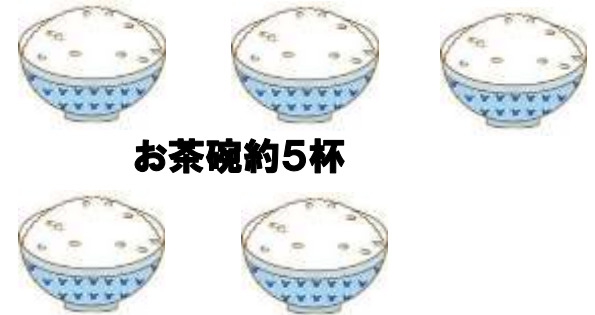


お茶碗約4杯

ミネラルウォーター(2リットル)94円



=



お茶碗約5杯

缶コーヒー 130円

出展：ミネラルウォーターは、総務省「小売物価統計調査(主要品目の東京都区部小売価格)29年度平均価格」
缶コーヒーは、街中の自動販売機等で販売されている一般的な価格

相対取引価格の推移(21年産~30年産)

○ 30年産米の31年2月の相対取引価格は、全銘柄平均で15,703円/60kgとなり、出回りからの年産平均価格は前年産+91円/60kgとなったところ。

相対取引価格の推移(税込) (全銘柄平均価格)

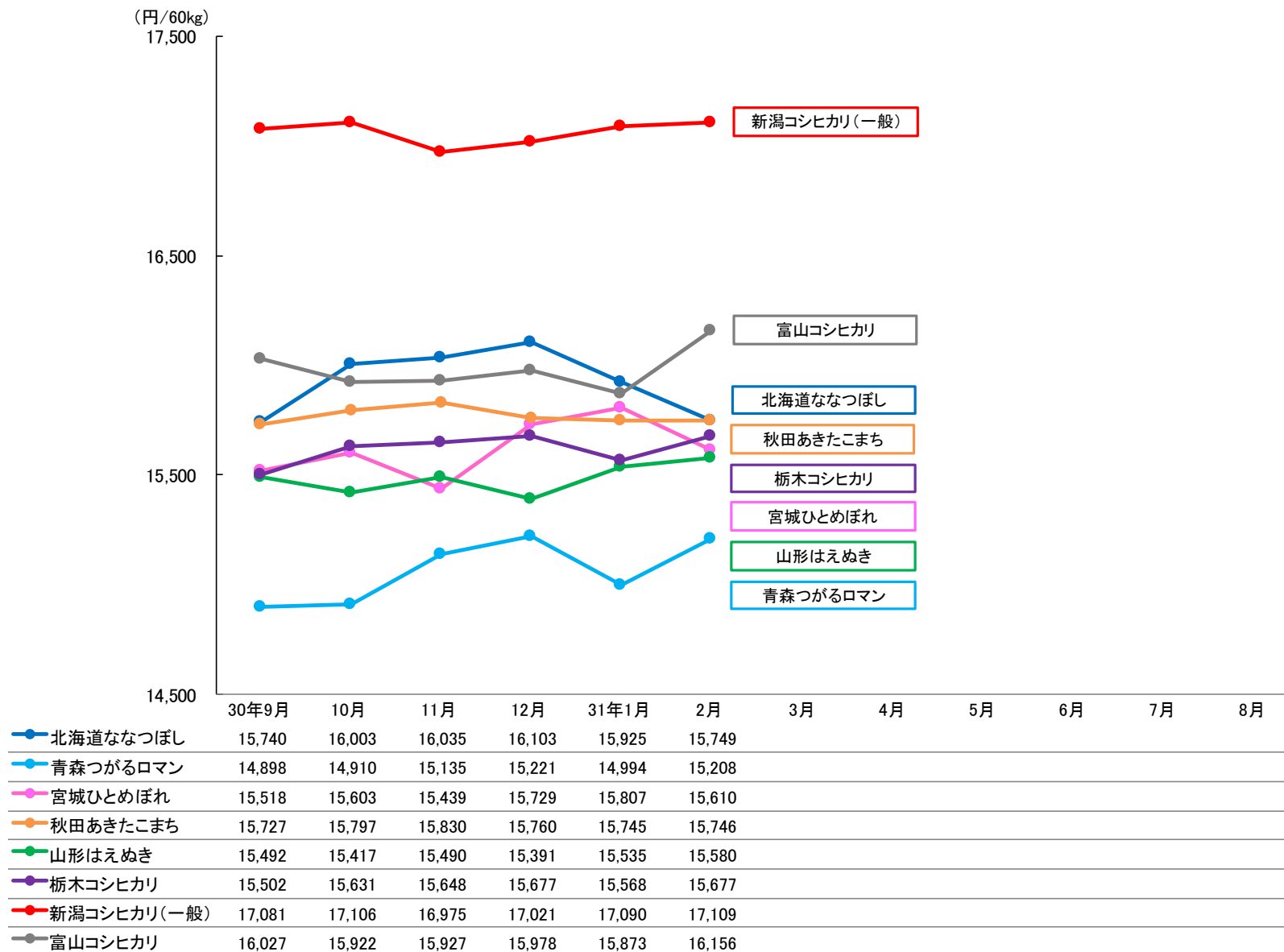


資料：農林水産省調べ

注1：運賃、包装代、消費税相当額(平成26年3月までは5%、同年4月以降は8%)を含む1等米の価格である。

注2：グラフの左側は各年産の通年平均価格(当該年産の出回りから翌年10月(30年産は当年2月)まで)、右側は月ごとの価格の推移。

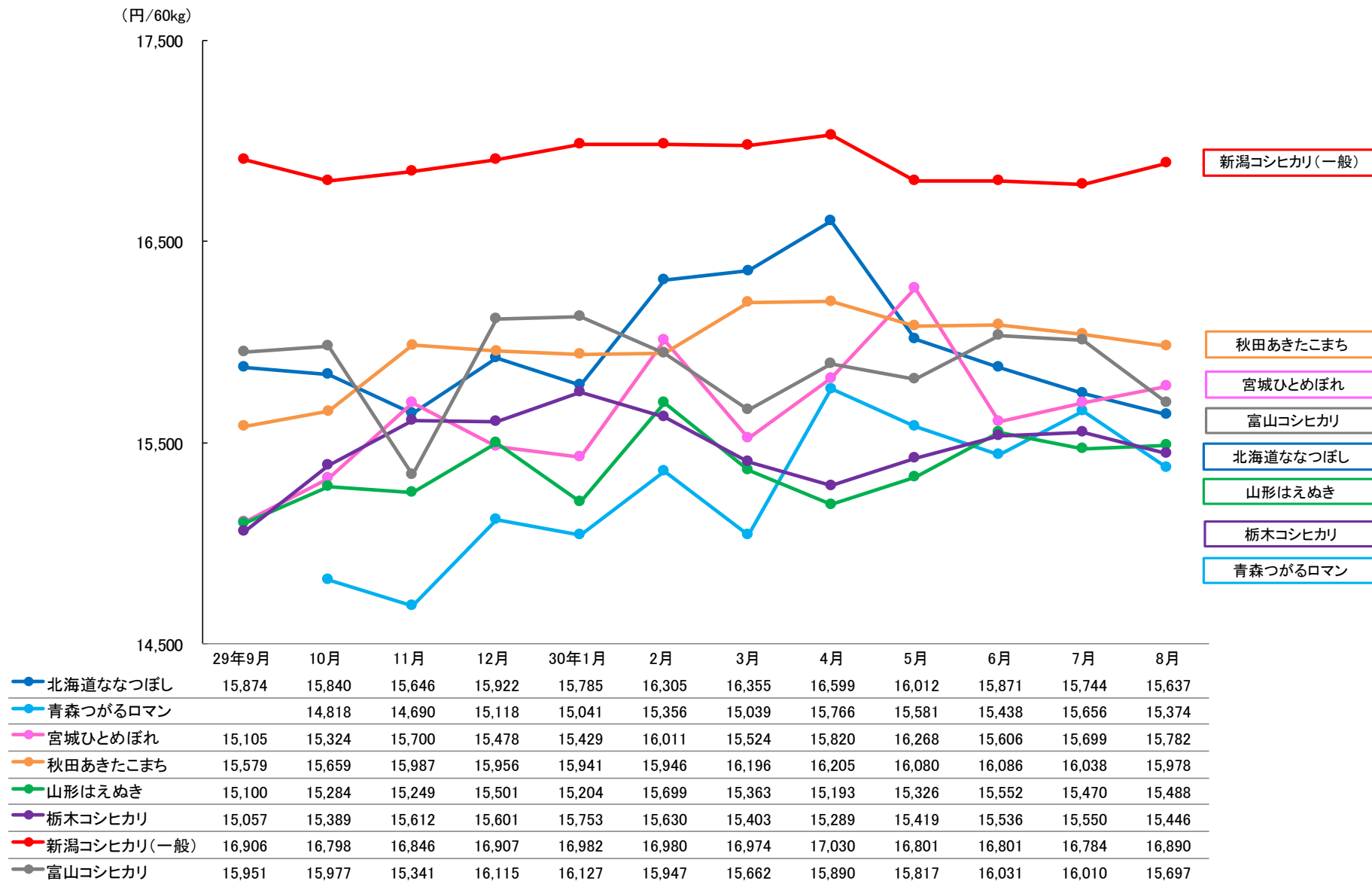
産地品種銘柄別相対取引価格の推移(平成30年産)



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。

産地品種銘柄別相対取引価格の推移(平成29年産)



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。